

“輝り”福岡地区企業紹介

キラ

アジア太平洋 マネジメント

【会社概要】

住所：〒807-0851

北九州市八幡西区永犬丸2-13-43

☎093-691-6005

代表者：青木 道生

設立：平成22年3月

業種：経営コンサルタント

銀行出身、中小企業専門の経営コンサルタント

長引く景気後退局面において、資金調達に支障をきたしている中小企業は多い。銀行交渉・提出書類の作成に時間を割かれ、本業である収益部門に手が回らない、といった悩みを抱える経営者は、少なくないのではないだろうか。

銀行と企業との『潤滑油』を目指した、コンサルタントの誕生である。

経営コンサルティング・オフィス『アジア太平洋マネジメント』は、その経営理念を『共栄』と掲げ、今年3月に開業した。同年2月末まで金融機関に勤務していた代表者の青木 道生氏は、銀行時代の法人融資専担の経験が豊富である。

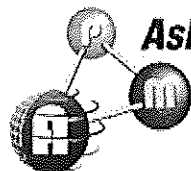
起業家の独立時や新たな収益源を模索する際の新事業部の設立時、『新規開業資金』という名の制度融資は用意されている。一方で、起業家が主張する『絶対に儲かるビジネスプラン』と、銀行員が要求する『返済及び事業継続の確実性』は、必ずしも整合的ではなく、論点が噛み合わない。双方の葛藤が理解できる立場だからこそ、私の役割は存在する—青木氏

は、このように語る。

新規事業に係る融資や、既に融資取引のある企業においても、『情報の非対称性』という問題が、貸手と借手との間には介在している。貸手(銀行)は、借手(企業)ほどにその会社・事業に対する情報量を持つことはできず、貸出金の回収確実性を高めるために、逐次『モニタリング』を行う必要がある。融資申込時以外でも、資金繰り表や銀行取引明細、その他の資料の提出を求められるのは、銀行が行う、この『モニタリング』行為に基づくものである。

銀行は、融資先に対して『格付値』を付与している。格付値の算出には一定のルールがあり、慣れてくると、当該企業の決算書を斜め読みしただけで、概ねその企業に与えられている『格付値』の当たり付けが可能となる。格付値に応じて、当該企業に対して今後の融資スタンスが概ね決められ、また、銀行決算に与える『貸倒引当金』にも影響してくる。

青木氏は、『魔法のように融資を引き出す』やり方・交渉術など、絶対にないと断言する。銀行との永年の取引関係の中で、いかに『情報の非対称性』を最小化し、銀行から付与される『格付値』を



Asia Pacific Management

BEST BUSINESS SOLUTIONS

経営コンサルティング・オフィス

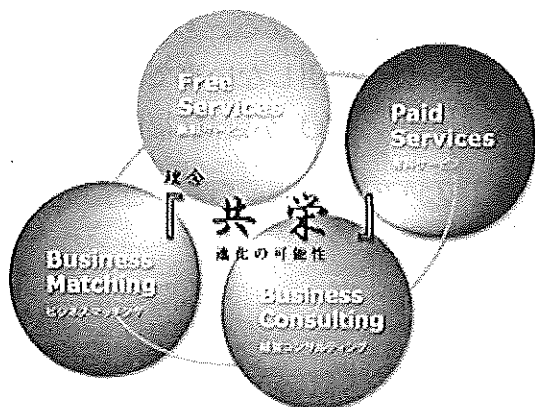
向上させるか、がポイントだと、強く主張する。

融資には『与信費用』というコストが存在し、貸出金の利息収入イコール銀行の収益、ではない。当該企業の格付値に応じて、PD(Probability of Default)と呼ばれる『デフォルト率・倒産確率』が算出される。与信量や担保で保全(カバー)されていない部分を算出し、EL(Expected Loss)と呼ばれる、銀行にとっての『期待損失値』が算出される。

金融庁は政策的に『リレーションシップ・バンキング』を推進してきた。顧客の情報量を蓄積し、銀行がコンサルティング機能を発揮することを求めたものだ。この政策の真髄は、銀行主導で貸出先企業の『PD』(倒産確率)を減少させるため、格付値の向上を図ることを目的としたものである。格付値が向上すれば与信費用が減少し、追加融資の大義名分に繋がる。格付値の向上のためには、貸手と借手の間の情報量・質の平準化・共有は、必須である。

—このように、代表の青木氏は、銀行と企業の『潤滑油・調整役』を目指している。経営理念の『共栄』とは、この考え方に由来するものである。

創業から2カ月足らず、クライアント



企業は福岡県外にまで広がっている。新規創業案件や資金繰り・追加融資案件、また、東南アジアに対するFDI(海外直接投資案件)など、数多くの案件を手がけている。補助金や助成金では社会保険労務士事務所、税務面では税理士・会計事務所、また、大手コンサルティング会社とも業務提携を行い、多様化するクライアントのニーズに、全力で応えている。

アジア太平洋マネジメントでは、財務診断・ビジネスマッチングは原則、無料で行っている。ウェブサイトでは、金融庁や中小企業庁、その他すべての官公庁の『報道発表資料』を原則、その日のうちに掲載している。『共栄』の理念に基づき、広く公に、情報提供を行っている。翌日の新聞発表よりも早く情報を手に入れるため、企業経営者は必読である。

『情報の非対称性』の最小化を目指し、格付値の向上による『共栄』のシステムを構築する—銀行出身者だからこそ実現可能な、プロの経営コンサルティングを、是非受けてみられてはいかがだろうか。『銀行との付き合い方』にも注力した経営管理は、今後より一層、必要性を増してくるのではないかと。(玉田)

【代表者プロフィール】

- H09.03: アメリカ・ロサンゼルス留学
- H11.07: カナダ・ブリティッシュコロンビア州留学
- H17.03: 立命館アジア太平洋大学
アジア太平洋マネジメント学部卒業
- H17.04: 金融機関入社
- H22.02: 金融機関退社
- H22.03: アジア太平洋マネジメント開業



青木 道生代表

ビジネス支援情報誌

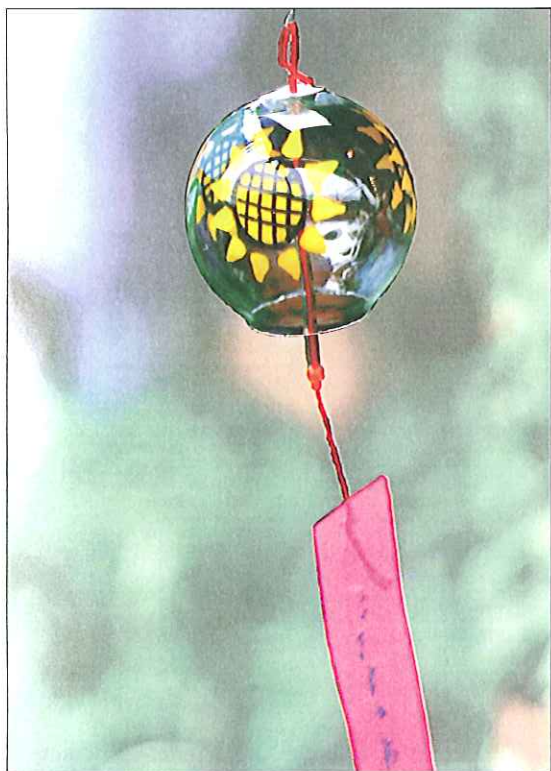
東経情報

<http://www.tokyo-keizai.co.jp/>

涼風献上

暑中御見舞、申し上げます

調査の東経
おかげさまで 50周年



代表取締役社長	越智英雄	
常務取締役	岡野昇	(東京支社支社長)
取締役	山岡明宏	(東京支社副支社長)
取締役	清原伸二	(大阪支社支社長)
取締役	田中正徳	(福岡支社支社長)
取締役	金子信夫	(管理本部部長)
名古屋支社長	加藤幸一	
広島支社長	勝目一広	
北九州支社長	野村藤男	
熊本支社長	米田耕太郎	
鹿児島支社長	飯田志寿雄	
監査役	多加喜悦男	(弁護士)
監査役	南谷知成	(弁護士)

他社員一同

東京経済株式会社

発行所:本社 管理本部 / 〒802-0004 北九州市小倉北区鍛冶町2丁目5番11号(第1東経ビル) TEL/093-521-5887 【購読料】年80,000円



無添加 純石けん
シャボン玉
TEL.093-791-4800

禁・転載・複製